

第1回寝屋川市放課後子ども総合プラン運営委員会議事録

1 日時 令和8年2月10日（火） 午前10時15分から

2 場所 議会棟5階 第二委員会室

3 出席状況

(1) 出席委員（13名）

杉本委員長、枘井副委員長、中村委員、高本委員、吉永委員、下北委員、
斎藤委員、本松委員、山下委員、宮地委員、糸見委員、山本委員、谷口委員

(2) 欠席委員（2名）

田端委員、村上委員

(3) 事務局（4名）

岡元課長、大橋係長、徳留、魚谷

4 次第

(1) 委員自己紹介

(2) 委員長及び副委員長の選出

(3) 令和7年度運営委員会の経過について

(4) ねやがわスクールパーク開始後における放課後子供教室の活動状況について

【ねやがわスクールパーク開始後における放課後子供教室の活動状況について】

- ・スクールパークが始まるまでは校庭開放で制服を着たまま、竹馬や一輪車の貸し出しがあり、子どもの利用も多かったです。スクールパークではサッカー・バスケットボール・野球などボール遊びがメインになっています。
- ・校庭開放の運営は大変であったが、子どもの参加人数も多く、楽しそうに遊ぶ姿がありました。スクールパークは決まったメンバーで校庭の端っこで遊んでいます。貸し出しの遊具がないことで遊び方を自ら考え、子どもの成長を促せるのが良い点ですが、制服を着たまま遊べる場所が必要に思えます。
- ・スクールパーク開始後は利用人数が少なかったが、徐々に増えてきています。主

に低学年が遊んでいる日もあれば、高学年が遊んでいる日もあり、留守家庭児童会を休んでスクールパークに行く子どももいます。終了時間を過ぎても、まだ、遊びたいという子もいます。

- ・放課後子供教室が実施していた校庭開放に比べ、スクールパークでは放課後の遊べる遊具にも制限がある為、以前貸し出しのあった一輪車などの貸し出しを望んでいる。放課後は、近所の公園でボール遊びをしている子どもを見かけることがあります。

- ・友達を誘って外で遊ぶ子が減っているのかと思います。

- ・校庭開放の代わりに、公民館を使用して地域で、放課後子供教室の活動もしています。他にも、集まった子どもと一緒に公園でゴミを拾うゴミコロリという活動もしています。放課後子供教室の開催場所の確保が難しくなっています。

- ・スクールパークは夏の暑い時期の利用の仕方が心配です。熱中症警戒アラートで開催が中止になった時には、図書館や体育館の使用もできるのではないかと。利用者の幅も広げて、中学生も利用できるといいなと思います。

- ・まだまだスクールパークが集える場所になっていない為、利用の仕方や、子どもが自由に遊べる場所づくりについて、検討していただきたいです。

- ・今の子どもは学校で正解のある答えを解く学習が多く、白い紙に自由に書くのが苦手な傾向にあるように思えます。白い紙に何を書くのかを助言し、子どもが選択できるようにすることで、自分で考える力がつけばいいなと思います。